

國有財産法案委員會會議錄(速記)第二一回

會議

大正十年一月二十九日午前十時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

清水市太郎君	澤 來太郎君	宮古啓三郎君
日野 辰次君	長谷場 敦君	深見寅之助君
野口忠太郎君	竹上藤次郎君	伊藤 廣幾君
降旗元太郎君	佐野 正雄君	中川幸太郎君
上島益三郎君	野田文一郎君	

同月二十八日委員加藤定吉君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日森山儀文治君ヲ議長ニ於テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ

內務省參事官	山縣 治郎君
北海道廳長官	笠井 信一君
大藏省主計局長	西野 元君
大藏書記官	太田嘉太郎君
主計局書記官	河本 文一君
農商務次官	田中 隆三君
農商務省山林局長	中井 勵作君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國有財産法案

○委員長(清水市太郎君) ソレデハ開會致シマス、政府委員ニ御尋致シマスガ、昨日宮古君ヨリ各省所有財産調ガ纏ッテ居リマスレバ、纏ッテ居ラナケレバ各々各省ヨリ取寄セテ、集メタモノデモ頂戴シタイト云フコトデアリマスガ、皆サンノ望デアリマスカラ、御取寄セテ願ヒタイ

○伊藤廣幾君 一寸御尋ヲ致シマス、此第三十條ニ就テ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、此北海道ノ國有地ニ關シテ、特別法ヲ制定致シマシテ、北海道ノ各地ニ於テ拓植民ノ取計ヒヲ致シテ居ルト云フ事ニ就テハ洵ニ開拓上ニ於テ必要ナ事ト信ジマスルノデアリマス、之ニ對シテ何等疑ヲ存シテ居リマセヌガ、此開拓上ニ於テ特別法ヲ制定ヲ致シテ居ルト云フ事ノ上ニ於キマシテハ、此國有財産法ヲ制定スル以上ニ於キマシテハ、是等ノ法ニ牴觸スル點ガアルト云フコト

ヲ即チ記載シテ居ル譯デアリマシテ、多分此國有未開地處分法ト、此國有財産法トヲ比較シマスレバ、何レノ點ガ牴觸セナイ點デアルカ、何レノ點ガ牴觸シタル點デアルカト云フ事ニ就テ、大體明カニナッテ居ラレルコトダト思ヒマス、其牴觸シタル點ニ就テ、大體御說明ヲ願ヒタイト思ヒマス、尤モ之ニ就テハ北海道開拓ノ中ニ多少關係ヲ持ッテ居ルヤウニ考ヘマス、ソレ故ニ牴觸シタル點ニ就テ一應御尋ヲ致シマス、ソレカラ尙ホモウ一ツ御尋ヲ致シタイ事ハ、當分ノ内仍其效力ヲ有スト云フコトヲ書イテ居リマスガ、當分ノ内「ト云フ事ハ、是ハ常識カラ判斷ヲ致シマスレバ、先ヅ一兩年中ダケ之ヲ保存シテ置ク、其儘ニシテ置クト云フ意味ニ取レマスル次第デアリマスガ、果シテ近キ將來ニ於テ此未開地處分法ヲ廢止致シマシテ、而シテ此國有財産法ニ依ッテ北海道ノ未墾地ヲ處分ナサル見込デアルカ、ドウカト云フコトヲ承ハリタイノデアリマス、ソレハナゼカト申シマスルト、北海道ニ於ケル所ノ土地ハ、未ダ其開墾ヲ致シマシタル處分濟ノモノハ半バニ達シテ居ラス、達セスト云フコト、思フノデアリマス即チ六千方里ノ土地ハ是迄ノ處分法ニ依リマスレバ、北海道長官ガ自由ニ處分ヲシテ居リマス、凡テ土地ヲ處分スル者ヲ銓衡スル所ノ法律案デアリマス、北海道ハ此國有財産法ニ依ッテ、將來ニ於テ之ヲ處分スルト云フ事ニナリマスレバ、何等ノ關係ヲ持ッテ譯デアリマス、即チ此開拓ノ進歩ノ點ハ、未ダ半バニ達シテ居ナイト云フ事ハ、是ハ御承知ノ通りデアリマス、北海道ノ農耕適地ハ百萬町歩、又ハ百萬五十萬町歩デアルト云フ事ヲ認メラル、農牧地ヲ加ヘマスルト、或ハ二百萬町以上ニ百萬五十萬町歩ノ土地ガアルト云フ事ニナッテ居リマスガ、現在僅ニ七十萬町歩内外ノ土地ガ開カレテ居ラナイ狀態デアリマスカラ、ソレデ此當分ノ内ト云フ文字ハ、近キ將來ニ於テト云フコトヲ示シテ居ルノデアルカ、今迄ノ成績ヨリ考ヘテ見レバ、開拓使ノ設置セラレテカラ今日ニ至ルマデノ間ニ、半バニ達セヌ所ノ成

績ヲ示シテ居ルト云フ事ハ、長キ將來ニ於テ矢張相當ナ歲月ヲ經ナケレバ、此未墾地ノ完成ヲ期スルト云フコトハ、至難デアルヤウナ考ガ起ラザルヲ得ナイノデアリマス、然ルニ其當分ノ内ニ兎ニ角未開地法ヲ存シテ居ルノデアルカ、サウシテ近キ將來ニ於テ國有財産法ニ依ッテ處分スルト云フコトニナリマシテハ、此地ノ開拓ニ就テハ、大ナル影響ヲ及ボスコトト思ヒマスノデ、ソレ故ニ政府ニ於テハ、果シテ此僅カナル近キ將來ニ於テ、此北海道ノ國有未開地處分法ト云フモノヲ廢止或ハ改正スルト云フ意思ガアルカト云フ事ヲ第二ニ伺ヒタイ、是ハ只今申上ゲマシタ通り、開拓上ニ於テ重大ナル關係ガアル事柄デアリマスカラ、其點ヲ伺ヒタイ、又北海道ノ土地ニ於テハ、當ニ農耕適地ノミナラズ、其他ニ數百萬町ノ國有林ヲ持ッテ居リマス、是等モ開拓ノ必要上ヨリ、北海道長官ノ主管ニ屬シテ、總テ處分サレテ居ルト云フ實況デアル、ソレハ開拓上已ムヲ得ズ適當ナル處分デアルト云フノデ、實行セラレテ居ルノデアリマスカラ、ソレデ近キ將來ニ於テ變更ナサルト云フ事ハ大ナル影響ガアル故ニ當分ノ内ト云フヤウニ記載シテアリマスガ、大體政府ノ是等ニ對スル御考ハ何レニ在ルカト云フ事ヲ一應御尋シタイノデアリマス

○河本政府委員 此北海道未開地處分法ハ、今度ノ國有財産法ト牴觸スル條文ハ非常ニ多イヤウニ考ヘテ居リマス、即チ第一條、第三條、第五條、第六條、第七條、第九條、第十條、第十二條ノ第二項、第十五條ト云フヤウニ、極ク精細ニハ——マダ果シテドノ條文ガ牴觸スルカト云フコトハ調ベテ居リマセヌガ、非常ニ多ウゴザイマス、是ハ牴觸スル條文ヲ當分ノ内ハ效力ヲ有スル、詰リ北海道國有未開地處分法ハ、國有財産法施行後ト雖モ、全部今マデノ通りニ效力ヲ有スル、斯ウ云フ趣旨デアリマス、其點ダケ御答致シテ置キマス

○西野政府委員 只今御尋ノ第二點ニ就テ一應私カラ御答致シマス、國有財産法案ニ於テ「當分ノ内仍

其效力ヲ有スル規定致シマシタ趣旨ハ、昨日モ申シマシタ通り、北海道國有未開地處分ノ現況ニ鑑ミテ、今俄ニ從來ノ法制ヲ廢メテ、全部國有財産法ニ依ルト云フ事ハ、北海道ノ開拓ニ關スル政府ノ方針トシテハ、甚ダ不便トスル所デアリマスカラ、暫ク從前ノ例ニ依ルト提案致シタノデアリマス、當分ノ内ト申シマスノハ、必ズシモ極メテ近キ將來ト云フ意味デハナイノデアリマス、是ガ兩三年ニ於テ濟ミマス力、數年ヲ費シマス力、其將來ノ事ハ今俄ニ時期ヲ斷定シテ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、只今仕事ヲシテ居リマス所デハ、確ニ兩三年デ全部國有財産法ノ適用ヲ受ケル域ニハ運ブマイカト考ヘテ居リマス、其邊ニ就テハ最モ北海道開拓上必要ナル實際ノ狀況ニ鑑ミテ、今後或ハ國有未開地處分法ヲ置クニシマシテモ、其條項ハ時勢ノ變遷ニ伴ウテ改正スル場合ガアルカモ知レマセヌ、或ハ又全部之ヲ廢メマシテ、國有財産法ノ適用ヲ受ケシムルコトニナルカモ知レマセヌガ之ハ將來ノ狀況ニ依ッテ決スル問題デアリマシテ、要スルニ只今ノヤウナ狀況ガ繼續スル間ハ、尙ホ暫ク此變則の方法ニ依ッテ參ルト云フ考デアリマス

○伊藤廣幾君 尙ホ伺ヒタイと思ヒマスガ、國有未開地處分法ト フーツノ特別法ヲ制定致シマシタ趣旨ハ、既ニ政府ニ於テモ御判リニナッテ居ル事ト思ヒマスガ、其抵觸シタ點ニ就テ只今御説明デアリマシタガ、私共モ抵觸スル點ガ多クアルト云フコトハ承知シテ居リマス、殊ニ根本ニ於テ此特別法ト此國有財産法ノ實行ノ趣旨ガ違ッテ居ルノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ只今モ第一條ノ如キ、北海道長官ガ北海道ノ土地ノ處分權ヲ有ッテ居ル、斯ウ云フヤウナ事ヲ言ハレタ、是ハ國有未開地處分法ノ第一條ニ規定サレテ居ル、是等カラ考ヘテモ、根本ニ於テ違ッテ居ルノデアリマスカラ、立法ノ趣旨ガ詰リ北海道ノ拓殖民ノ成功ヲ期スル爲メニ設ケラレタ法律デアラウト思ヒマス、之ニ依ッテ見マスレバ根本ニ於テ違ッテ居ル、此國有財産法ト相合體致スヤウナ形式ヲ取ラレテ居ルト云フヤウナ事ハ、其趣旨ニ於テ徹底シナイトモ考ヘマスカラ、尙ホ承リタイ

事ハ抵觸セザル點ヲ明カニ御示シテ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ尙ホ重ネテ御尋ラ致シタイノハ、當分ノ内ト云フ事ハ、或ハ三年ニナルカ、五年ニナルカ十年ニナルカ分ラヌト云フ御答デアリマス、當分ノ内ト云フ文字ハ、先ヅ常識カラ考ヘレバ、近キ將來ト云フ意味ガアルヤウニ考ヘマスガ、此當分ト云フ文字ヲ何故ニ茲ニ殊更ニ加ヘタカト云フ事ニ就テ、何等カ他ニ理由ガナケレバナラヌト考ヘマスガ、ソレニ就テ吾々ノ解釋ノ當分ト云フコトハ、ソナンニ長イ時ヲ意味シテ居ラナイト考ヘマスノデ、ソレ故ドウ云フ必要上カラ此當分ト云フコトヲ加ヘタト云フコトニ就テ尙ホ重ネテ御尋致シタイノデアリマス

○西野政府委員 北海道國有未開地處分法ナルモノハ、一般ノ國有財産法ノ如キモノト異ナル目的ヲ以テ制定サレテ居ルト云フ事ハ、只今御意見ノ通りト考ヘマス、隨テ北海道ノ未開地ニ對シテモ、一般ノ國有財産法ヲ適用スルコトハ當然デアリマスガ、此特別ノ目的ヲ以テ制定サレテ居ル條項ニ就テハ、之ヲ特別ニ扱フコトガ必要デアルト考ヘテ、茲ニ此條項ヲ設ケタノデアリマス、然ラバ何故ニ當分ノ内ト云フ言葉ヲ以テ其效力ヲ尙ホ存續セシメルカト申シマスト、國有財産法ハ其制定ノ趣旨カラ申シマシテ、從來斷片的ノ不統一ニナッテ居タ各種ノ勅令其他ノ法規ヲ綜合シテ、茲ニ國有財産ノ管理ニ關スル根本ノ法制ヲ定メルト云フ事ニ在ルノデアリマスカラ、是ハ荷モ國有財産デアアル以上ハ、總テ國有財産法ノ適用ヲ受ケシムルト云フ事ガ原則ノ趣旨デアリマス、國有財産デアリナガラ、國有財産法ノ適用ヲ受ケナイモノハ無イコトニ致シタイト云フ考デアリマス、隨テ之ガ財産ノ管理ニ就テハ、大藏大臣ガ之ヲ統一のニ總括ノ事務ヲ取扱フ、或ハ計算其他ノ關係ニ於テ、總テ一定ノ方法ニ於テ統一のニ管理スルト云フコトハ、所謂國有財産ニ對シテハ總テ適用スル、又朝鮮、臺灣、樺太等ニ對シテモ、尙ホ適用スルト云フ趣旨デアリマスカラ、必要ナルモノニ就テハ多少ノ例外ヲ求メル、原則トシテハ國有財産ハ總テ國有財産法ノ適用ヲ受ケシムル積リデアリマス、隨テ國有財産法ハ國家ノ永久のノ——將來長イ間ニ互ル法制デア

アリマスカラ、將來ニ此法ノ期待スル生命カラ考ヘマスレバ、未開地處分法ハ一時的ノ經過的ノ法制デアリマス、當分ノ内ト云フコトハ、二年デ了ルカ、三年デ了ルカト云フ斷言ハ出來マセヌ、成ベク早く國有未開地處分ヲ了シマシテ、全部完全ニ國有財産法ノ適用ヲ受ケル日ノ一日モ早く來ランコトヲ政府ハ希望スル所デアリマス、隨テ北海道ノ未開地ニ對スル原則トシテ、國有財産法ノ適用ヲ受ルノデアアルケレドモ、ソレニ反對ノ規定ノアル場合ニ於テハ其反對ノ例外的ノ效力ヲ認メタルト云フ趣旨ヲ以テ之ヲ制定致シマシタ

○伊藤廣幾君 サウシマス、當分ノ間ニハ北海道ノ開拓ガ稍々緒ニ就イテ、其成績ヲ舉ゲルマデ、政府ニ於テ國有財産法ヲ適用セヌデ宜シイト云フ意味デアルノカ、斯ウ云フ事ニ私共承知シテ宜シウゴザイマス

○西野政府委員 只今ノ御尋ハ、北海道ノ狀態ガ一般國有財産法ノ原則ヲ適用シテ差支ナイ時期マデ、此例外的ノ規定ヲ認メルト云フ御尋デアリマス

○伊藤廣幾君 北海道ノ開拓ガ未ダ半バニ達セヌ次第デアリマスガ、北海道ノ開拓モ、國ニ於テ既ニ開拓ハ完成ヲシタト云フ時期ガ必ズ將來ニ於テアラウト思ヒマス、ソレマデハ國有未開地處分法ヲ存置シテ置イテ、特別ニ取扱フト云フコトノ御方針デアアルノデアルカ、斯ウ云フ御尋デアリマス、左様ニ承知シテ宜シイカ

○西野政府委員 大體御尋ノ通りノ趣旨ト考ヘマスガ、結局政府ニ於キマシテ、北海道ノ國有未開地處分ニ關シマシテ、尙ホ現行ノ如キ例外的ノ法制ニ依ル方ガ適當ト信ジテ、其效力ヲ有セシムルコトハ勿論ノ話

○委員長(清水市太郎君) 伊藤君ハ本法ノ規定ト抵觸スル所ガ何處ダト云フ御尋ガ最初アッタヤウデスガ、ソレハ政府委員ノ御説明デ分リマシタカ

○伊藤廣幾君 抵觸セザルト云フ點ヲ私ハ承リタイ、根本ニ於テ違ッテ居ルカラ、總テ抵觸シテ居ルト考ヘマスカラ

○河本政府委員 國有財産法ニ於キマシテ臺帳ヲ作

ルトカ、計算書ヲ作ルト云フコトハ、國有未開地處分
法ト何等抵觸致シマセズスカラ、ソレハ北海道ノ
國有未開地ニ對シテ國有財産法ガ適用サレル譯ニナ
リマス

○澤來太郎君 幸ニ北海道長官ガ御出席ニナッテ居
リマスカラ、此機會ニ北海道未開地處分ノ事ニ關シ
テ御尋ヲ申シテ置キタイト思ヒマス、北海道未開地
處分方法ハ、改メテ申ス迄モナク入札拂下ノ主義ニ
依ラズシテ、從來競願拂下ノ主義ヲ御執リニナッ
テデアリマスガ、此兩主義ノ中、孰レガ最も公平ナ方
法デアルカト申シマスレバ、無論此公明ナル入札拂
下ノ主義ヲ執ルノガ適當デアラウト思フノデアリマ
スケレドモ、從來ノ北海道廳ハ此公明ナル手段ニ依
ラズシテ比較的甚ダ不公明ニ傾キ易キ所ノ競願拂下
主義ヲ執ラレタルコト云フ事ハ、如何ニモ遺憾ニ堪
ヘナイノデアリマススケレドモ、從來ノ行掛上致方ガ
ナイトシマスレバ、是亦他ニ方法ノ無イ譯デアリマ
スノデ、餘儀ナイ事デアリマススケレドモ、何故ニ比較
的公明ナ方法ヲ執ラズシテ、斯ノ如キ方法ヲ執ラレ
テ居ルカラ一ツ伺ッテ見タイト思フ、其御答ガ濟ミマ
シタナラバ、更ニ伺ヒタイ事ハ、例ヘバ一箇所ノ未開
地拂下ノ公告ガアル、其公告ノアル場合ニハ、四方ヨ
リ競ウテ願書ヲ提出スルノデアリマス、其出願者中
ニハ、殆ンド甲乙丙丁ノ別ヲ分チ難キ事ガアルニ相
違ナイノデアリマス、即チ財産程度ニ於キマシテ又
其人ノ平生ノ境遇ノ上カラ見マシテモ、甲ニ許可セ
ンカ、乙ニ許可センカ、將タ丙ニ許可センカ、大ニ惑
ハザルヲ得ヌヤウナ場合ガアルト思フ、斯ル場合ニ
於キマシテハ、如何ナル法ニ依ッテ甲ナリ乙ナリ丙ナ
リヲ就中適當ナルモノト認メテ、之ニ許可ヲ爲サル
デアルカ、吾々ノ考ヘマス所ニ依レバ、分チ難キモノ
ヲ強テ分ツ云フ事ハ、神様カ佛様デナケレバ、ドウ
モ鑑識ガ届キ兼ルコトデアラウ、然ルニ北海道ノ御
役人様方ハ、此點ニ於テ殆ド神佛ヲ凌グダケノ智慧
デモアル様ニ私ハ見ル、斯ル場合ニハドウ云フ方法
ニ依ッテ同等ノモノ、中ニ等差ヲ設ケラレルノデア
ルカ、之ヲ伺ヒタイノデス、ソレガ濟ミシタナラバ
更ニ第三ニ於テ伺ッテ置キタイノハ、一旦拂下ヲ受

ケタル土地ヲ第三者ニ轉賣スル時ニ當ッテ、必ズ當局
ハ之ニ對シテ許可ヲ與ヘラレテ居ルニ相違ナイト思
ヒマスガ、然ルニ吾々ノ聞ク所ニ依レバ、此轉賣ト云
フコトハ、甚ダ矛盾シテ行レテ居ルト云フコトヲ聞
イテ居リマス、何故矛盾シテ居ルカト申シマスレバ、
曩ニ此未開地拂下當時ニ於テハ出願者ノ方ニ於テモ
方法ヲ出願者ハ提出シ、又其資産狀態ニ於テモ、其業
務狀態ニ於テモ、此者ナレバ必ズ開墾ノ目的ヲ達ス
ルト云フ御見當ヲ御定メニナッテ、特ニ其者ニ對シテ
御許シニナル、所ガ一旦其者ガ許可ヲ得ルヤ、之ヲ第
三者ニ轉賣スル時ニ至ッテハ、何等ノ資格ナキ者ニ對
シテ之ヲ讓渡シテ差支ナイト云フヤウナ事ニ相成ッ
テ居ル、サウシテ見マス、第三者ハ果シテ先ニ拂下
ゲタル者同様ノ資力資格等ヲ持ッテ居ルモ居ラナク
テモ、一向ソレニ頓着スルコトハナイコトニナル、而
シテ之ニ向ッテ又當局ハ認可ヲ與フルノデアリマス
カラ其認可ナルモノハ、先ノ拂下出願當時ノ狀態ト、
全ク矛盾スル事ニナルデアラウト思フケレドモ、北
海道ニ至ッテ其實況ヲ見ルト、此矛盾ナルモノ、不
合
理ナル事柄ガ實際行ハレテ居ルコトト、私ハ認メテ
居ル、斯様ナ事ハ當局者トシテ將來共ニ從來ノ如ク
放任ニナル積リデアルカ、斯ル矛盾ナル事ハ、是ハ速
ニ矯正シナケレバナラスト云フ御方針デアリマセ
ウカ、以上三點ニ就テ明確ナル御答アラント望
ミマス

○笠井政府委員 第一ノ質問ノ公賣ノ方法ト特賣ノ
方法トノ事ニ就キマシテノ利害、其他北海道廳ノ執
リマス狀態ヲ御話申上ゲマス、此未開地處分法ノ原
則トモ申シマセウカ、未開地ヲ處分致シマスニ就キ
マシテハ、此人デアアルナラバ、北海道ニ在リシテ、
目的ヲ達セラレルモノデアルト云フ事ヲ第一ニ確メ
テ、何人デモ唯ダ土地ヲ公平ニ賣リサヘスレバ宜イ
ト云フ意味デナク、事業ヲ遂行セラレルヤウニト云
フ考ヲ以テ、此土地ヲ處分致スノデアリマスカラシ
テ、第一ニハ特賣ト云フ事ヲ原則ト致シ來ッテ居リマ
ス、併ナガラ出願ガ餘リ澤山デアリマシタナラバ、又
第二ニ御答セントシテ居リマスル事柄デハアリマス
ルガ、選擇ノ到底出來ナイト云フヤウナ見込ノアリ

マス時分ニハ、之ニ公入札ヲシテ賣拂フト云ノ事モ
用キテ居リマス、併ナガラ其實績ヲ見ルト、公入札ノ
場合ニハ、多クハ投機ノ考ヲ持ッテ其土地ヲ占領シ
テ、更ニ他ニ之ヲ賣拂フト云フヤウナ例ガ屢行ハレ
ルヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカ又ハ土地ヲ兼併ス
ルト云フヤウナ事ガアリマス、概シテ申シマス、
公入札デヤリマシタ實績ハ、宜シクナイト云フコト
ガ道廳ニ調ベラレテアリマス、ソレ故ニ道廳ト致シ
マシテハ、先ヅ原則ヲ特賣ト云フ事ニシテ、人ヲ見テ
其土地ヲ賣拂フト云フコトヲ之ヲ原則ト致シマシ
テ、已ムヲ得ザル場合ニ公入札ヲ行フト云フ方法ヲ
執ッテ居リマス、第二ノ御問ノ告示ヲシタ時分ニ、競
願ノ多數デアリマシテ、其時ニハ大體ニ於テ身分調
査ヲ致シ、其資力、信用、經驗、各種ノ狀態ヲ調査致シ
テ、其内最も適當ト考ヘル者ヲ擇ビ出シテ、ソレニ賣
拂ッテ居リマス、只今澤君ノ例ニ出サレタ甲乙丙丁殆
ド其差ヲ見ナイト云フ事モ、是モ隨分アルヤウニ存
ジマス、其差ガ無イ、多イ時分ニハ、唯今御話ヲシタ
ヤウナ工合ニ、公入札ヲシテ處分ヲスルコトニシテ
居リマス、併シ此多數ノ出願ノアル時分ニハ、色々調
査ヲシテ見マスル、其間ニ比較ガ出テ參リマシテ、
實ハ多少ノ違モアラウト存ジマスケレドモ、調査ヲ
シタ所ノ結果カラ申シマスル、殆ド資力モ同ジ、信
用モ同ジ、經驗モ同ジヤウナコトデアリマシテモ、
或ル者ハ丁度其勢力ニ堪ヘラレルヤウナ男子ガアル
トカ、或ハ次男三男ヲ分家ヲシナケレバナラスト云
フヤウナ事情ガアリマス、或ハ北海道ニ屢々來ッ
何レカノ地點ニ於テ自己ノ資産ノ運用ヲ致スコト
ヲ考ヘテ居ル者ガアルト云フヤウナ事ガ、自然ト調
査ノ中ニ現ハレテ參リマス、サウ云フ場合ニハ、先ヅ
其等ノ方ガ比較的宜シカラウ、甲乙丙丁殆ド調ベノ
點ニ於テハ差ハ無イガ、實際ノ査定ノ狀況ガ、北海道
ハ其人ノ住ムニ適當デアルト考ヘレバ、其者ニ遺ル
コト、シテ居リマス、唯ダ一片ノ調査書類デ見ルト、
略々似テ居ルヤウデアッテ、其間ニ差ガアリマス、實
ハ自分モ多クノ書類ヲ一々見ル事ハ出來マセスケレ
ドモ、時々其調ベヲ見マスルト、或者ガ多數ガ相當ダ
ラウト云フモノハ、必ズ何等カノ理由ガアッテソレニ

同意スルノガ適當デアルト云フ譯デアリマス、第三ノ轉賣ノ事ハ、拂下ヲ受ケテ之ヲ轉賣スルコトハ隨分アルサウデアリマス、此點ハ甚ダ遺憾ニ思ッテ居ル、澤君ノ御話ノ通りニ、何等カノ取締ヲ致シタイト思ッテ、色々調査研究ヲシテ居リマス、マダ適當ナル案ガ出來ナイ、併シ之ヲ頭カラ嚴禁ヲシテシマウト云フ事ハ、是ハドウデアラウカト存ジマス、ト云フノハ共同デ出願ヲシ、又共同ト云フコトガ事實ニ於テ判ツテ居ルヤウナモノ、場合ニ依ッテハ其一方ノ者ガ或事情ノ爲メニ脱退スルノデ、其共同ノ中ノ一人ガソレヲ他ニ轉賣ヲシヤウト云フ時ニ、他ノ一方ガ之ヲ踏止メルコトガ出來ズシテ、已ムヲ得ズ賣ルト云フ事情モアリマスシ、又出願ノ當時ニハ相當ノ實力ヲ持ッテ居ッタ者ガ、或事情ノ爲メニ失敗シテ、ドウシテモソレヲ他ニ轉賣シナケレバナラヌト云フヤウナ事情ガアリマスノデ、ソレ等ノ事情及ソレニ類シタル事情ヲ具シテ申シマス、此轉賣ト云フ事ヲ認メテヤラナケレバナラヌヤウニ存ジマスルノデ、ソレカラ又假ニ之ヲ轉賣ヲ許サスト云フコトニシテ見タナラバ、ドウデアラウカト云フコトヲ考ヘテ見マシタガ、サウスルト其轉賣ノ事情ガ全然消滅スルト云フ譯デハナクテ、内實ノ轉賣ガ多クナルヤウニ思ハレ、道廳ヨリ其賣拂時代ノ條件ヲ遂行スベク、或ハ其他ノ命令ヲ出シマシテモ、本當ノ權利者ハ他ニ移ッテ居リマス、ト云フ、名義上ノ權利者ガ其命令ヲ次ノ者ニ傳達セナイデ居リマスノデ、實際ハ茲ニ拓殖上種々ナル困難ヲ生ジテ參ルノデアラウカト思フノデ、最初適當ノ人ヲ選拔シテ賣拂ツタモノデアリマスカラシテ、何處マデモ其者ニ其事業ヲ遂行セシムルト云フコトハ、私共ノ熱望スル所デアリマスルガ、以上申述べマシタルヤウナ事情ガ、人生ノ長キ間ニハ起ル事柄デアリマスノデ、其邊ノ事モ斟酌ヲシテ、轉賣ヲ成ベク無カラシムルト云フ途ヲ講ジタイト思ッテ、是ハ今研究中デアリマス、大體三問題ヲ御答致シマス

○澤來太郎君 只今ノ御答ニ依リマス、餘程御答振ガ鈍ッテ御居デニナルヤウデアリマス、人情トシテ

ハ私ハ餘リ追窮致シタクナイノデアリマス、サリナガラモウ少シク承ナケレバ了解シ難イ事ガアリマスカラシテ、聊カ蛇足ヲ添ヘテ置カウト思ヒマス、只今ノ私ノ第二ノ質問ニ對シテハ御答ヲ拜聽致シマス、多クノ出願者ノ中、例ヘバ到底甲乙丙丁ノ分チ難キ者ノアルト云フコトハ御認メニナッテ居ル、此分チ難キ者ニ等差ヲ附シテ、就中是ハ適當ノ者デアルトシテ、御決裁ナサルモノデアルニ相違ナイノデアリマスカラシテ、分チ難キ者ヲ分ツト云フコトガアル以上ハ、ソコニ大ナル顯著ナル理由ガナケレバナラスト思フ、顯著ナル理由ナクシテ、唯ダ自由裁量ノニ之ヲ認可スルト云フノデアリマスカラ、其間ノ疑惑ガ是ニ生ズルノデ、神佛ニ非ザレバ分チ難キモノヲ、人爲ヲ以テ之ヲ分ツノデアリマスカラ、是ハ不思議ナル分ケ方デアルト、斯ウ思ハナケレバナラヌ、聞ク所ニ依リマス、サウスル場合ニハ、動モスルト、議員デアルトカ、何トカト云フ他ノ公職ヲ帶ビテ居ル者ノ方ニ、動モスルト其選ニ當ルヤウニナル事ガ多イト云フ、又實際私共ノ考ヘマスル所ニ依ッテ見テモ、サウスル傾ガアルヤウニ見エルノデ、必ズシモ然リトハ申シマセヌガ、其傾ガアルヤウデアル、加之會テ北海道廳ニ於テ、其時ノ拓殖部長ヨリ親シク此事情ヲ聽イテ見マシタ時ニ、其拓殖部長曰ク、サウスル場合ニハ滅茶苦茶デスト、斯ウ云フ事ハ甚ダドウモ私ハ分ラヌ決裁ノ仕方デアルト思ッタノデアリマスケレドモ、其席ニ於テ追窮スルコトヲシナカッタノデアリマスガ、如何ニモサウスル場合ニハ滅茶苦茶ニヤッテ居ルヨリ外アリマセヌト云フノガ真相デアラウト思フ、強イテ分チ難キモノヲ分ツト云フノデアリマスカラ、モウ目ヲツブツテ、サウスル盲斷シテ居ルニ相違ナイト思フ、盲斷スルカ、然ラザレバ矢張情實ニ依ッテ之ヲ認可ヲ與ヘルト云フコトニナルヨリ外ハ無イト私ハ思フ、此點ニ就テサウスル場合ニハ、或ハ特賣ヲ轉ジテ公賣法ニ依ル事モアリマスト云フ御答デアリマスケレドモ、實際ニ就テ見マスト云フト、斯ル場合ニ於テ特賣ヲ轉ジテ公賣ニナサル實例ハ、私ハ未ダ寡聞ニシテ其事ヲ聞カス、恐ラク是ハモウ情實一方デ行ッテ居ルモノト見ル方ガ相

當ノ見方デアルト私ハ信ジテ居リマスカラ、ドウカ北海道拓殖ノ爲メニ、斯ル情實弊害ガ若シ世間ヲ傳フルガ如キ事デアッタトスレバ、深ク御戒飭ヲ加ヘラレテ、殊ニ廉潔ナル現長官ト致シマシテハ、無論吾ノ言ヲ俟タズ、此弊害ヲ根本的ニ矯正ナサルト云フ御主義ヲ採ラレテ居ルコトハ、申ス迄モナイ事デアリマスケレドモ、ソレニシテモ更ニ一段ノ御戒飭ヲ加ヘラレンコトヲ望ンデ置キマス、ソレカラ第三ノ御答、即チ轉賣許可矛盾ノ件ハ、甚ダ御答ガ不徹底デアリマシテ、私ハ了解スルニ苦ム、何トナレバ私ノ御尋申上ゲタ事ハ、此轉賣スル事ヲ惡イト云フノデハアリマセヌ、勿論是ハ轉賣スル事ヲ認可センケレバナラヌ場合ガ必ズアルコトニ寧ロ思フノデスケレドモ、其轉賣者ト被轉賣者トノ關係、此關係ノ上ニ於テ、前者ト後者ト矛盾スルコトヲ免レナイ、何故ナラバ、轉賣者ノ前者ニ於キマシテハ、十分ノ道廳ノ調査ヲ受ケテ、只今ノ御答ノ通り身分ノ上ニ於テ、資産ノ上ニ於テ、信用ノ上ニ於テ、又經驗ノ上ニ於テ、此者ナレバ許可ヲシテ宜シイト御見定メガ付キマシタ上ニ於テ、始メテ其者ニ認可ヲ與ヘルノデ、然ル以上ハ此後者タル所ノ被轉賣者タル者モ、矢張前者ト同様ノ御調査ヲ遂ゲラレテ、此者ナラバ前者ト同様ノ資格ヲ有シテ居ル、又此者ナラバ、前者ノ志ヲ繼承シテ、其目的ヲ達スルニ適當ノモノデアルト云フコトニナラナケレバ、其轉賣ヲ許スベキモノデアナイト思フ、然ルニ前者ニ對シテハ十分ノ調査ヲ遂ゲラレテアルニ拘ラズ、後者タル所ノ被轉賣者ニ對シテハ、殆ド何者デモ構ハヌト云フガ如キコトニ相成ッテ居ルト云フコトハ、私ハ矛盾焉ヨリ大ナルモノハ無イト思フ、之ヲシモ矛盾ト言ハズンバ、天下殆ド矛盾無シト言フテモ宜シイノデアル、然ルヲ只今ノ御答ハ、此矛盾ノ點ヲ如何ニ救済スルカト云フコトノ御答ニアラズシテ、轉賣センケレバナラヌ場合ガアリマスカラ、轉賣ヲ願クハ廢メタイト思フケレドモ、併ナガラサウスル場合ノアルコトヲ見テ居リナガラ、ソレニ認可ヲ與ヘヌト云フコトハ甚ダ忍ビナイカラ、此轉賣ニ認可ヲ與ヘテ居ルト云フコトニ歸著スル、私ハ此轉賣其物ヲ以テ必ズシモ惡シキモノナ

リト申スノデハアリマセヌ、何故ニ此被轉賣者ニ對シテ矢張轉賣者ト同様ノ御調査ヲ遂ゲラレタ後ニ認可ヲ與ヘラレナイノデアルカラ御尋ヲ致スノデアリマスカラ、其事ヲ更ニ御答ヲ願ヒタイノデス、此御答ガ濟ミマシタナラバ、終リニ臨ンデモウ一ツ御尋ヲシテ置キマス、ソレハ最初開拓使當時ヨリ歷代ノ長官ヲ經ル間ニハ、内地ニ於ケル所謂富豪階級ノ人ガ、多クノ大地積ヲ北海道ニ有シテ居ルノデアリマス、而シテ其富豪等ハ、多クハ北海道ニ居住シテ居ル者デハゴザイマセヌ、即チ北海道ヲ距ルコト遠キ地域ニ居住致シテ居ル者デアツテ、隨テ大地積ヲ自分ガ取ツテ見タガ、之ヲ開墾スルコトヲ甚ダ怠ツテ居ルノデアリマス、今尙ホ投棄シテ居ル者ガ諸處ニ現ニ見エテ居ル、之ト反對ニ小農ノ有シテ居ル土地ハ殆ド開墾セラレザルモノガ無イ、小ナル者ハ拓殖ノ目的ニ副フヤウニ働イテ居リマスガ、大ナル者ハ拓殖ノ目的ニ反スルガ如キ態度ヲ執ツテ居ルコトガ事實デアル、長官モ之ハ御認メデアラウト思フ、其結果トシテ、利スル所ハ何者ガ利シテ居ルカト云フト、小ナル開墾者ハ甚ダ利益薄ウシテ、其結果トシテ不勞所得ニ基シタ所ノ富豪ノ所有地ガ、小農ノ御蔭ヲ以テ大ナル利益ヲシテ居ルト云フコトガ、現ニ見エテ居リマス、例ヘバ富豪ガ大地積ヲ一個所ニ有シテ居ル、サウシテ小農ハ其周圍ヲ開墾シテ居ル、周圍ガ開墾サレマス、未開墾ノ富豪ノ有シテ居ル地積ノ價ト云フモノガ非常ニ高マツテ來ル、其結果カラ申シマスルト、小農ノ膏ヲ以テ富豪ノ大地積ガ大ナル利益ヲ占メルト云フコトニナルノデアリマスカラ、今日ノ思想狀態カラ見マシテモ、是ハ由々シキ一大事デアルト思フノデス、何等カ今ニ於テ之ガ救済ノ策ヲ講ズルデナケレバ、或ハ恐レ他日思想ノ惡化ナルモノハ、内地ニ起ラズシテ、北海道ヨリ起ルデハナカラウカト思フ、富豪ハ坐シテ利益シ、而シテ小農ハ背ニ汗シテ利スル所ガ甚ダ少ナイト云フ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、結果論カラ言フト——而シテ此富豪ノ大地積ナルモノハ、北海道ニ於ケル未開地デアリマスカラ、稅ガ掛ラズ、若クハ掛ツテ薄イノデアリマスカラ、富豪ハ此地積ヲ放

棄シテ顧ミナイ、顧ミナイ方ガ利益デアル、ナゼナラバ己レノ有シテ居ル周圍ノ土地ガ開墾サレタナラバ、ジツトシテ居ツテモ其地價が高マツテ來テ、己ヲ利スルノデアアルカラ、彼等ハ小資本家ノカラ以テ己ノ土地ノ價ヲ高ウシテ居ル、斯ル顯著ナ事柄ニ對シテハ、所謂北海道ノ最高政策ト致シマシテモ、何等カ救済ノ策ヲ講ジナケレバナラヌモノト思ヒマス、然ルニ歷代ノ當局者ハ、此事實アルコトヲ一向見ザル真似シテ、殆ド顧ミナイト云フコトハ、前ニ申シマシタ通り、由々シキ大事ヲ惹起ス所以デアルト思フ、此救済策トシテ、或ハ富豪ガ放棄シテ居ル土地ニ對シテ、稅ヲ課スルトカ云フ方法デモ御執リニナツタナラバ、高キ稅ヲ拂ツテ居リナガラ、唯ダ放棄シテ居ルニハ忍ビナイト云フコトカラ、著々開墾ニ著手スルカモ知レヌ、其他何等ノ方法ガアリマシタナラバ、此富豪ノ大地積ヲ速ニ開墾サスコトガ出來ルト思ヒマスガ、此點ニ對シテ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○笠井政府委員 澤君カラ選定ノ事ニ就テ御注意ガアリマシタ、御注意ハ諒承致シマシタ、尙ホ部下ヲ戒メル事ニ致サウト思ヒマス、唯ダ其前、拓殖部長ガ澤君ニ御話ニナツタト云フヤウナ事ヲ豫テ聞ニ承リマシテ、ドンナ場合ニ其様ナ話ガ出タノデアラウカト云フ事ヲ聞イテ見マシタ所ガ、本人ハ決シテ競願者ヲ選擇ヲスルニ際シテ、無茶苦茶ニ之ヲ行ツタ事ハ斷ジテ無イ、又サウ云フ話モ申上ゲタ事ハ無イト云フ事ヲ繰返シテ話シテ居ラレマシタ、或ハ拓殖部長カラ御話ノ中、何等カ其間ニ間違ガアツタモノデハアルマイカト思フノデス、唯ダ事實甲乙丙丁殆ド區別ノ付カヌヤウナ場合ニハ、豫テ屢々本道ノ土地ヲ得テ開墾シヤウトスル者ガ、五回モ六回モ出願シテ、許可ヲ受ケルコトガ出來ナカッタ、或ハ何年ノ間屢々出願シタケレドモ、自分等ニ何等ノ缺點モ無イノニ、許可ヲシテ呉レナイノハドウデアアルカト云フヤウナ事デ出テ來ル者ノ、其熱心ナル希望者ヲ承知シテ居ルガ爲メ、自ラ其等ノ間ニ順位ヲ取ツテ見タト云フ事モアル、兎モ角モ北海道ノ拓殖ノ爲メニ、此人ナラバ必ズアルデアラウト思フ者デアレバ、別ニ選擇ヲ誤ツタモノデナイ、他ニモソレト同等ノ者ガアルニ

シテモ、結果ニ於テ間違ノナイト云フ途ヲ執ルノデアアルカラ、他カラ批評ヲシテ見ルト、甲乙丙丁同ジデアルト言ハレテ居リナガラ、何故ニ其一人ノ者ヲ擇ンダカト云フ非難ハ受ケルケレドモ、拓殖ノ見地カラ見ルト、何等差支ナイ事デアル、斯ウ云フ事ヲ言ハレタ事ガアリマシタ、或ハ其邊ノ事カラ御疑惑ヲ招イタモノデハナカラウカト思フ、是ハ兎ニ角公明ニ、情實ニ觸レズシテ、實際拓殖上適當デアルト云フ者ヲ擇ブベク部下ヲ戒メル意嚮デアリマスカラ、此點ニ就テハ別ニ異議ノアルベキ筈ハ無イノデス、尙ホ係リノ者ニモ注意ヲ致サウト思ヒマス、其次ニ轉賣ノ許可ヲスル場合ニハ、常ニ嚴密ナル調査ヲシタ如ク、轉賣ヲ受ケル者ヲ十分ニ調査ヲシタラ宜イデヤナイカト云フ御説ノヤウニ承ハリマシタ、是ハ御尤ノ御説ト存ジマスガ、最初ノ競願ノアリマス時ニ、競願ト云フ關係カラシテ、非常ニ嚴密ナル調査ヲ致シマスガ、後ノハソレ程嚴密デナク、人ガ定メラレテ居ルノデアリマスカラ、最初ニ賣拂フ場合程ノ調査ヲシナイト云フ事ガアリマス、併シ全然此調査ヲシナイデハナクテ、ドウ云フ者ニ賣拂フカト云フコトハ、一應取調ベル事ニナツテ居リマス、尙ホ是ハ最初程ノ必要ガアリマスルカドウデスカ知リマセヌガ、モウ相當十分ニ調査ヲシテ、サウシテソレニ許スト云フ事ガ、是モ確カニ一ツノ方法デアルト思フ、此點ハ尙ホ研究スル事ニ致シタイト存ジテ居リマス、其次ニ御問ノ富豪ノ大地積ヲ有シテ居ル事、而モソレガ開墾セラレテ居ラナイモノニ就テノ考ハドウカト云フ御問デアリマスカラ、是ハ色々ニナツテ居リマスルノデ、富豪中ノ、大面積ヲ持ツテ居ル者デ、實ニ能ク開墾シテ、模範ノ農場ト言ハレル位ニ能クヤツテ居ルモノモアリマス、併ナガラ大ナル放牧地ヲ擁シテ、何事モシナイデ居ルト云フ者モ亦アリマスガ、此放牧地ヲ持ツテ居リマスル者ノ中ニ、地積ハ多クシテ何等ノ事業ヲシテ居ラヌト云フ者ニ對シテハ、道廳トシテ非常ニ迷惑ニ存ジマシテ、只今ノ所デ之ニ對シテ法律上何等之ヲ強制スルダケノ特權ヲ有ツテ居ラナイノデ唯ダソレ等ニ對シテ、牧畜ヲスルナリ、或ハ植林ヲスルナリ、開墾ヲ致スナリ、何等カノ途ヲ講ズル

ヤウニト云フコトヲ勸告スル位ナ所デアリマス、假令此大農場ニシテ、模範ト言ハレルヤウナモノデモ、北海道ノ拓殖ト云フ見地カラ申シマスルト云フト、其ダ是ハ迷惑ニ存シテ居リマスケレドモ、只今ハ斯ウ云フモノニ對シテ別ニ處理スル途モアリマセヌノデス、是ハ吾々ノ研究問題トシテ屢々上リマスルケレドモ、別ニ方法モアリマセヌデスカラシテ、租税カ何カラ、所謂間地稅ノ歩合、ソレニ依ッテ強制スル様ナ途ヲ講ジテ參タラドウデアラウカト、只今ノ所デハ考ヘテ居リマス、放牧地ノ方カ畜產ノ儲打カ幾分カツツ上ッテ參リマスルシ、又一面ニハ、綿羊ノ利益ト云フコトヲ唱道スルコトガアリマスノデ、其等ノ計畫ヲ爲シツ、アルモノモアリマスルカラシテ、今後ノ狀態ハドウデアリマスルカ、現在ニアッテハ一番困ルノガ、大放牧地デアアルノデ、知名ノ富豪ノ持ッテ居ル太面積ト云フモノハ、相當ニ着手モシ又所ニ依リマシテハ、先程申ス通りニ、模範ノ農場トモ言ハレルベキ程良クヤッテ居ル所モアリマス、大體ニ於テ其富豪ノ太面積ト云フモノハ、良クヤッテ居ラレル、ズツト以前ニ、大面積デ以テ、放牧地トシテ賣拂ハレテ居ルガ、是ガ大體ニ於テ宜シクナイ、宜シクナイ方ノ大放牧地モ、畜產ノ利益ト云フコトヲ知ッテ漸次ソレヲ利用スルト云フ氣運ニ向ッテハ居リマス、唯ダソレガ全體ニ着々施行シテ居ルト云フ譯デゴザイマセヌカラシテ、ソレヲ促進スルナリ、事業ヲ遂行サセルノニ、何等カ法律上ノ力ヲ以テ行カナケレバ、到底道廳トシテ其土地ヲ完全ニ利用スルト云フ途ハ、只今ハ有ッテ居リマセヌ、是ハ間地稅等ニ依ッテ、土地ヲ有益ニ使ハシムルト云フ途ヲ講ゼシメタラ宜カラウカト云フ考ヲ有ッテ居ルト云フコトヲ申シテ、御答ニ代ヘタイト私ハ存ジマス

○澤來太郎君 只今ノ御答ニ依ッテ、少シハ遺憾ナル點モアリマスルケレドモ、大體了解致シマシタ、改メテ申ス迄モナク、現政府ハ特ニ北海道ノ拓殖ニ重ヲ置カレテ居ルト云フコトハ、本年ノ豫算ニ依ッテ見ルモ明カデアリマス、何卒只今御答ノ通り、斯ル弊害ノ矯正ニ就テハ、十分一段ノ御努力下サルヤウニ希望シテ置キマス、之デ止メマス

○降旗元太郎君 一寸今ノ續キニ——私ハ後デ質問シマスガ、澤君ノ質問ニ就テ一寸氣付イタ事ガアルカラ、北海道長官ニ伺ッテ見タイト思ヒマスデ、今特賣公賣ニナサルコトヲ、實績ニ依ッテ縷々御述ベニナツタ、私ハ其實績ヲ知リタイノデス、外ノ總テノ場合ニ於テ間ヒタイト思ッテ居タノデゴザイマスケレドモ、此機會ニ於テ所謂其實績ガ知リタイ、例ヘバ昨年中、二ドレダケノ許可ヲ與ヘタト云フノモ實績ノ一ツデアリマス、ソレニ先ダツテ何年度ニドウ云フ目的ヲ以テ、ドレダケ拂下ラシタカ、其目的ハ現在ニ於テ達成セラレタモノガドレダケアルカ、達成セヌモノガドレダケアルカト云フ様ナ、其實績ガ知リタイト思フ、現ニ只今御話ニナツタ中ニモ、大放牧地ハ其儘ニ打捨テ、置イテ、何等事業ニ着手ヲセヌモノガアル、サウシテソレニ對シテハ道廳ニ於テ何等強制スル法規ガ無い、遺憾デアルト仰シヤッテ居ル、サウ云フモノ、アル以上ハ近來拂下ラサレタモノ、中ニモ、實績ニ於テ同ジヤウニ事業ニ着手モセズ、何等實績ノ擧ゲナイモノモアルデアラウト想像サレル、ソレデアルカラ、特賣ガ公賣ニ優ルト御陳述ニナツタノヲ承ッテ成程特賣ガ良イノダナト、私共ガ監督スルニハ其實績ヲ承ルコトガ、矢張信念ヲ有ツ上ニ必要ナ事デアリマスカラ、統計表ト云ウテ御尋スルト、餘リ窮屈ニナルカモ知レナイガ、是ハ統計ノ上ニ於テ、御手數デスケレドモ、數年間ノモノヲ示シテ貰フト、一番能ク判ルト思フ、如何デスカ

○笠井政府委員 特賣ト公賣トノ比較デアリマスガ、私ノ先程申上ゲタノハ、斯ウ云フ意味デアリマス、未開地ヲ拂下ゲルト云フ事ハ、成ベク其處ニ其拂下ヲ受ケタ者ガ移住シテ、土地ヲ開墾スル、或ハ植樹地ノ目的デアレバ樹ヲ植エタリ、放牧ヲシテ牛馬其地ヲ飼フト云フヤウニ、其目的ニ副フヤウナ結果ヲ現ハシタモノヲ宜イト申シテ居ルノデ、其目的ニ副フヤウナ人ヲ選擇シテ拂下ゲルト、大體ニ於テ宜シイノデ、公入札ノ場合ニハ、人ヲ選バズニ入札ヲサセマスカラ、金ノアル者ガ高札ニ之ヲ落スト云フコトニナリマスカラ、初カラ其者ガ必ズ移住ナリ開墾ヲスルカ、又道廳指定ノ條件ニ違フカ、ドウカト云フ

コトハ、疑問デアル、土地ヲ高ク賣ルトカ、手數ヲ少クシテ公平ニ處分スルト云フ意味カラ申スト、公入札ノ方ガ都合ガ宜イヤウニ見エマスガ、未開地ヲ拓イテ行クト云フ意味カラ申スト、其土地相應ノ人ヲ選ンデ特賣シタ方ガ實績ガ宜シイ、又事實ニ於テ妙ナ關係ノアルノハ、頻リニ土地ノ拂下ヲ望ンデ、而モソレガ投機ノ考デナク、實際開墾ヲスベク、屢々公告サレテ居ル、土地ヲ實際ニ見ニ行ッテ、色々設計ヲ立テタリシテ、出願シテ來ル者ガアル、所ガ公入札ノ場合ニハ、ソレ程熱心ノ人ガ入ッテ來ナイ、現ニ私モサウ云フ人ニ話ヲシタコトガアリマスガ、其希望シテ居ル土地ガ公入札ニナルノデアアルカラ、入札シテ見タラ宜カラウト申シタラ、ソレデハ迎モ自分等ニ落タル筈ハナイ、又高イ金ヲ出シテ其處ヘ行ッテ農業ヲヤルト云フコトハ、吾々ノ資力ノ及バヌ所デアアルカラ、サウ云フ處ハ御免蒙ッテ、更メテ告示ノアッタ時分ニ出願シマセウト云ッテ、入札ニ加ハラヌ、土地ノ賣買等ヲ頻繁ニヤルトカ、入札等ニ馴レテ居ル連中ガ澤山ヤッテ來ルノデ、初メカラ公賣ノ方ニナルト、特賣ヲ望ンデ來ルモノトハ様子ガ變ッテ居リマス、又事實ニ於テモ公入札シタ結果ヲ觀察サシテ見ルト、土地ヲ相當ニ切ッテ、他ニ轉賣シヤウト云フコトヲ考ヘテ居ッテ、實際ニ開墾ニ着手シナイ者ヲ見ルノデアリマス、是ハ廳員ノ實際調査シタ者ノ復命デアリマス、尤モ道廳ニ在ッテハ特賣ヲ原則ニシテ居リマスカラ、公入札ノ場合ハ數ノ少イコトデアリマスケレドモ、其ノ少イ所ノ實況ヲ調べテ見マス、孰レモサウ云フ復命デアリマス、今茲ニ御希望ノヤウナ統計書ヲ持ッテ居リマセヌカラ、數字ヲ以テ御話スル譯ニ行キマセヌガ、實際調べタ者ノ復命ヲ綜合シテ申シタノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ公入札ノ方ガ成績ガ宜シクナイト云フノデ、高ク賣ルトカ公明正大ノ扱デアルト云フ意味カラ申シタノデハナイ、北海道ヲ開クニ就テノ結果ヲ考ヘテ見ルト、公賣ヨリモ特賣ノ方ガ概シテ宜シイト思ハレルト申上ゲタノデアリマス

○降旗元太郎君 私ハ理窟ヲ言フノデハナイノデスガ、只今笠井サンノ御話ニナツタ事ハ、成程サウ云フ

意味ハ無論アラウト思フ、思フガ更ニ一步進シテ、ドレダケノ細カナ町歩ヲ拂下ラ受ケタ者ガドレダケノ人数ガアツテ、サウシテソレガ當初拂下ラ受ケタ通りニ事業ニ著手シテ居ルカ、此事ヲ知リタイト、斯ウ云フノデス、若シ只今ノ通り御話ガアツテモ大キナ町歩ノ拂下ラ受ケテ、サウシテ其町歩内ニ於ケル例ヘバ木ヲ伐ルトカ何トカシテ、後ハスッポカシテ置クト云フヤウナ者ガ、矢張依然トシテ細カナ町歩ノ拂下ラ受ケテ、サウシテ事業ニ著手シテタ者ノ總人数ノ總面積ヨリモ大ナル面積ヲ一人デ以テ拂下ラ受ケテ、サウシテ勝手ニ利益ヲ得テ居ルト云フヤウナ者ガ、或ハ其面積ノ上ニ於テ多イカモ知レナイ、私一體何モ知ラナイカラ御尋ラスルノデス、ソレデスカラ一方ニ細カナ土地デ、ドレ程事業ニ著手シテ居ッテモ、其人数ヨリ大ナル面積ヨリ吞舟ノ魚ガ一人デ勝手ナ事ヲシテ居ルカモ知レナイ、私ハ何モ知ラナイカラ御尋ラスルノデスガ、若シ是ダケノ人数デ是ダケノ面積ヲ拂下ゲテ、其等ガ銘々事業ニ著手シテ居ルノデアルト云フ事實ガ、統計ノ事ガ判ルト、成程面白クナイ、御尤デアルト首肯ガ出來ル、ソレヲ知リタイト云フノデス

○笠井政府委員 一寸申上ゲテ置キマスガ、成績表ハ是ハ調ベタラ判ル筈デアリマス、只今此ニ持ッテ居リマセヌシ、是ハ道廳ノ方ヘ言ッテヤリマセヌト調査ガ出來ナイト思ヒマス、先程來ノ大キナ面積ニ於テ拾テラレテ居ルト云フコトデスガ、之ニ就テ一應御話ヲシテ置キタイト思ヒマス、今日ノ場合ニハサウ云フ方ノ者ガ出ナイ筈ニナツテ居リマス、古キ以前ニハ今日ノ規則ト違ヒ、又時代モ變ッテ居リマシタノテ、兎ニ角大キナ地面ヲヤリマシテ、ソレデ北海道ニ何カ事業ヲシタラ宜カラウト云フヤウナ事デ以テ、道廳テ勸誘シタ時代モアルサウデアリマス、サウシテ又大キナ土地ヲ拂下ゲ、或ハ無償デ以テ拂下ゲルト云フヤウナコトニモ、成ベク其條件ノ六ヶ敷クナイ、値段ノ安イヤウナ法ヲ執ラウト云フコトヲ、任意ニ出願者ガ考ヘテ、放牧地ト云フコトニスル、此放牧地ト云フコトガ一番大キナ面積ヲ得ルニ便利デアッタノデアリマス、其時代ノ事ヲ考ヘテ見ルト、實ニ馬

鹿氣タ御話デゴザイマスケレドモ、多少、御參考ニナルカモ知レマセヌガ、只今ノヤリ方ハ、第一ニ農耕地ト云フ土地ヲ選定スルノニ、道廳デ見タ農耕地適地ト云フ事ヲ第一ニ調ベマシテ、其次ハ植樹、其次ハ農耕ニモ植樹ニモ甚ダ適シナイヤウナ所デ、申サバ詰ラヌ所ヲ放牧地ト云フコトニシテ居リマス、所ガズット古キ時代ニハ、農耕ニ適スルヤウナ所デモ、出願人ガ相當ノ土地ヲ選ンデ、サウシテ之ヲ放牧地ニシタイカラ、何百町歩トカ何千町歩トカ云フヤウナ所ヲ拂下ラ受ケタイ、斯ウ云フ風ニシテ圖面上デ以テ許可ヲシタ事ガアル、サウシテ其時分ノ放牧地ノ成功検査ト云フモノハ、先ヅ周圍ニ柵ヲ拵エテ、牛ナリ馬ナリヲ放テバ、ソレデ成功ト云フコトニナッテルサウデアリマス、ソレデ其牛ヤ馬ナドヲ他カラ借りテ來テ、サウシテ其處ニ放ッテ、成功検査證ヲ受ケル、ソコデ完全ニ所有權ガ移ッテ仕舞ッテ、ソレデ成功検査證ヲ貰ヘバ、幾多ノ牛ヤ馬ハ借りタ人ニヤッテ仕舞ッテ、サウシテ伐ルベキ木ハ伐ッテ、後ハ放ッテ置ク、ソレガ今日殘ッテ居リマス、完全ニ所有權ヲ得テ、賣リモ何モシナイデ以テ其處ニ其儘殘ッテ居ルモノデスカラ、其始末ニ困ッテ居リマス、今サウ云フ所ヲソレハ調ベルト云フト、農耕ニ適スル所モ大分アルヤウデアリマスシ、殊ニ畜産ナドニハ最モ適當ナル所ガアリマスカラ、或ハ開墾サセルナリ、牧畜ヲサセルナリ、何カラ致サセタイト思ヒマシテ、勸告ヲシテ居ル譯デアルガ、其持主ガ北海道ニ在住シテ居ル人デアリマスルト、モウ少シ勸告ノ途モ付カウト思ヒマスガ、ソレガ内地ニ今日在住シテ居ル人デアリマスカラ、道廳ノ勸告モ十分ニ容レテ呉レナイヤウナ工合ニナッテ居リマス、サウ云フ土地ハ、各所ニ散在シテ居リマスノデ、急ニ調ベガ付カヌノデスケレドモ、其調ベヲ今日爲シツ、アリマスカラ、是等ハ調査ガ出來マスルガ、ソレガ餘リ吾々ノ想像スルガ如ク多カッタナラバ、法律ノ力カ何カデ生産力ヲ擧ゲルヤウナコトニ強制ヲシテ貰ヒタイト思ッテ居リマス

○降旗元太郎君 御話ノ意味ハ私ニハ判ッテ居リマス、ドウカ此數年間ノ拂下ノ實況ト、拂下後ノ事業進捗ノ實績ト云フモノヲ、略々吾々ガ事實ニ於テ知り得ル程度ノモノヲ、御調ベガ出來マスナラバソレヲ頂戴シタイト云フコト、モウ一ツハ、只今ノ長官自カラモ言ハレルガ如ク、始末ニ困ッテ居ルト云フモノガドレ位アルト云フコトモ、兎ノ兎マデ間違ノナイ調査書ヲ頂戴シタイト云フノデハアリマセヌケレドモ、吾々ノ略々今御話ノヤウナ始末ニ困ッテ御居デニナルヤウナ所ガドレ位アルト云フヤウナ、見當ノ出來ルダケノ程度ノ御調べ書ヲ頂戴スルコトガ出來ルナラバ頂戴シタイト云フ譯デアリマス

○笠井政府委員 調査ヲ出來ルダケシテ、出來マシタナラバ御手許ヘ差上ゲマス

○委員長(清水市太郎君) 前回宮古君カラ國有財産ノ各省ノ分ヲ纏メタ分ガ要ルカラ、無ケレバ取寄セテ、大藏省ノ政府委員カラソレヲ示サレタイト云フ事デアリマシタ、ソレヲ大藏省ノ政府委員ニ願ヒマス

○西野政府委員 大體ノ研究ノ上ニ、御判リニナリマスヤウナモノヲ作リマシテ、差上ゲルコトニ出來ルダケ致シマス

○宮古啓三郎君 國有財産法ノ第二十四條ニ、寺院又ハ佛堂ノ土地ニ限ッテアツテ神社ハ除イテアリマスガ、是ハドウ云フ理由デ除イテアルノデアリマスカラ

○西野政府委員 神社ノ方ハ寺院又ハ佛堂ト違ヒマシテ、此日本ニ於ケル特別ノ神社ハ、國家ニ對スル關係カラ、之ヲ國ノ營造物ト見テ、第二條ノ第二項ニ於テ、國ニ於テ神社ノ用又ハ國ノ事務事業ニ供スルヤウト云フ規定ヲ致シマシタ、神社ハ即チ國ノ用ニ供スルモノト云フ、斯ウ云フコトデ公用財産ニナリマシタ結果デス

○宮古啓三郎君 サウスルト神社ハ如何ナル神社タルヲ問ハズ、神社ノ境内地ハ即チ公用ト見テ、第二條ノ方ノ支配ヲ受ケサスコトニスル趣意デスカ

○西野政府委員 神社ノ事ニ就キマシテハ、尙ホ内務省ノ當局者ヨリ御説明申上ゲル方ガ宜シイト思ヒマスガ、國法ノ適用ニ就テハ——私ハ神社ノ事ハ不案内デアリマスケレドモ、名稱ハ色々アリマスガ、國法ノ上カラハ資格ヲ持ッテ居ラヌモノデモ入ルト思ヒマス、此御答デハ十分ノ説明ニハナラヌカト思ヒ

マスガ、尙ホ神社ノ事ハ内務省デ認メテ國ノ造營物ト致シマス、如何ナル神社ガ適用サレルカト云フ事ニ就テハ、内務省ノ政府委員カラ申上ゲマス

○宮古啓三郎君 内務省ノ方ガ御在デアレバ、神社ニモ村社トカ無格社トカ色々アリマスカラ、何レモ、如何ナル神社デモ矢張之ヲ公用ニスルコトニナリマスカ伺ヒマス

○西野政府委員 内務省ノ政府委員カラ……

○山田政府委員 只今御尋ニナリマシタ神社ハ、官國幣社、縣社、鄉村社、無格社、色々アリマスカ、總テヲ含ム次第デス、無格社ニ至ルマデ……

○宮古啓三郎君 判リマシタ

○委員長(清水市太郎君) 本日ハ是ニテ閉會致シマス、月曜日ハ午後一時カラ開キマス

午後零時十五分散會